

LET'S

一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-43-7773
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail: lets@some.jp

平成29年1月

うるわし通信

波乱の年を迎えて

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平成29年丁酉年における会員各位の本年のご清祥を心よりお祈り申し上げます。

ここ、やまと桜井の郷は穏やかな初春を迎えていますが、世界を見渡せば、先行きの見えない不確実な時代の年明けとなりました。

特にアメリカのトランプ大統領の打ち出す政策がどうなるのか、全世界が息をのんで見守っています。イギリスEU離脱の行方やヨーロッパ各国の選挙の結果など、予期せぬ波乱の年になるかもしれません。

遠い海外の出来事というだけではすみません。直ちに私たちの明日の暮らしに直結するからです。誰かが何とかしてくれるという他人任せでは荒波に飲み込まれるだけです。自らが自立しどんな時代が来ても生き抜く覚悟を固めなければなりません。

そのためには足元をしっかりと固めなければなりません。自らの歴史や伝統をもう一度見つめ直し、日本民族本来の良さを生かして社会に貢献してゆく必要があります。古代国家発祥の地、桜井の役割はますます大きくなるでしょう。古代の先人の言霊がいまも漂う神なびの郷が日本人の心のふるさととして、私たちに自信と安らぎを与えてくれます。

桜井では桜井駅前、大神神社参道、纏向遺跡、大福駅前、長谷寺門前町などのまちづくりが大きく動き出しています。

行政だけに頼るのではなく、公民協働してさくらいを活性化していきましょう。会員各位の本年のご活躍を祈念いたします。

うるわしの桜井をつくる会 会長 堀井 良殷



ご存知ですか？知って頂きたいこと！！（活動紹介）

編集部として、桜井発のさまざまな地域活動をされている諸団体に、投稿をお願いしました。紹介頂いた活動を展開されている方々に御礼を申し上げますと共に、このような取組みをより一層広げることを通じて、新しい桜井を創っていくことをめざして、共に心を寄せていきたいと思っております。

全国素麺サミットin桜井に向けて

奈良県三輪素麺工業協同組合 理事長 池側義嗣

本組合では、恒例となった「ならマラソン」で、天理市の折り返し点付近での「そうめんのふるまい」を継続して行っております。

今年で6回を迎えるこの取組みは、ランナーに食べやすい冷そうめんを提供するもので、8000人分を準備して、午前5時頃から組合員が準備したそうめんを、順次ふるまっています。また、青年部ではスタート（ゴール）地点で、応援される方々に温かいそうめんを有料で提供しております。

来年度は【全国素麺サミット】を桜井市で開催することになっており、本場の三輪そうめんを多くの方々に知っていただく機会として、取り組みたいと考えており、桜井の地場産品であるそうめんが、全国から一層の注目がされる年になるよう願っております。

なお、「全国そうめんサミット2016」は、昨年5月21～22日の両日兵庫県たつの市で開催され3万名の参加者で賑わいました。



ランナーへの素麺ふるまい

日常的な防災の備えづくり

朝倉台自主防災会



防災訓練

「朝倉」は記紀万葉の時代に遡る由緒ある地名です。その名を冠した朝倉台住宅地に朝倉台自主防災会は、平成9年8月に発足しました。きっかけは、平成7年1月17日の阪神淡路大震災の大きな衝撃でした。朝倉台自治会と連携して、防災に関するボランティア団体として啓発活動を行っています。会員数は現在88名です。

取組みの一環として防災訓練は、町内会ごと（15町内会）での安否確認と住民有志による実技体験訓練を毎年行っています。町内会の役員に中心になっていただき、警察署・消防署・消防団・幼小中学校などの機関や地域団体の協力を得て、本年第16回目を迎えた防災訓練は、世帯数の66%、住民1,002人の参加を得て実施しました。被災者である人が、避難所で係員になって他の住民を援助する、共助することも想定しました。



避難訓練(1号公園)

いつ起きるか分からない大地震に備えて、年間を通じて、途切れることなく継続的に何かをやり続ける、呼びかける体制づくりが大切だと思っています。

本会の活動や啓発資料は、ホームページにてご覧ください。<http://www4.kcn.ne.jp/~t-ogino/>

柿についての豆知識 刀根早生の驚異

桜井市観光ボランティアガイドの会 会長 豊村史郎

桜井市内の三輪・纏向・穴師地区は柿の産地である。ボランティアガイドとして、地域を歩いた時に興味を持った柿についてまとめてみました。

刀根早生 昭和34年の伊勢湾台風により天理市萱生町で栽培されていた平核無(ひらたねなし)柿の木が折れる甚大な被害があったが刀根淑民(とねよしとみ)氏の園地の1本が突然変異を起こし根元から若木が芽生えた。それを淑民氏は接ぎ木をして育成したところ平核無より約2週間早く実をつける新たな柿の木になり昭和55年新品種、刀根早生として登録され全国に広がり富有・平核無と3大品種の一つとなり栽培面積は2300haとなった。原木は現在も残っています。天理市における栽培面積は平成17年度47ha、平成27年度19.5ha(生産農家の高齢化により減少)

富有柿 御所柿の改良品種、岐阜県で開発され原木は現在も岐阜県本巣郡巣南町居倉の小倉氏宅内に保存されている。

御所柿・平核無 日本の甘柿品種で最も古いものは禅寺丸(不完全甘柿)で13世紀に発見されている。完全甘柿では17世紀に報告された御所柿が最初の品種、奈良県御所市で栽培されている。平核無の原産地は新潟県。

柿の日 10月26日 正岡子規の名句「柿くえば鐘が鳴るなり法隆寺」が構想されたとされる日、(この句は東大寺近くの宿で御所柿を食べながら詠まれたと言われている)



刀根早生

「やまと和婚」への想い

株式会社ブライダルエファーナ 榮嶋まゆみ

『やまとは くにのまほろば たたなづく あおがき やまごもれる やまとし うるはし』

日本武尊が詠んだ「やまと」は今の奈良の地域を指しますが、広い意味で「やまと」は日本そのものを表す言葉として使われます。日本民族は、精神性の高さにおいて世界の中でも希有な民族と言われ、その日本人のこころのあり方を「やまと魂」と呼びます。

「おもてなし」や「もったいない」という言葉に現れるように、日本人はヒトやモノにたいする慈しみの気持ちを大切にしてきました。そして、その慈しみの心が、美しい伝統文化を育んできたのです。

しかし、その美しい文化がいま、失われつつあることも事実です。

私は現在、大神神社を中心とした大和の神社仏閣での結婚式を、クライアントである新郎新婦とともに創り上げることを仕事としていますが、近年の挙式スタイルはキリスト教チャペル式一辺倒となってしまう、2,000年以降、神前式は挙式全体の18%に留まっています。奈良公園の中にチャペル中心の婚礼専門会場が建つ現状です。それでも、ごく最近になってじわじわと神前式や和装スタイルに人気が集まるようになってきました。これ



は、戦後失われようとしていた日本人としてのアイデンティティ「やまと魂」を取り戻したいという純粋な想いが、いま結婚しようとしている人達を通して、社会に現れているのではないかと思うのです。

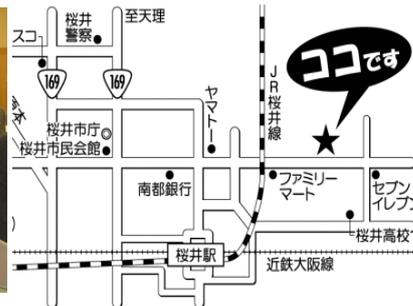
私は、和装婚礼『和婚』というものに、美しい日本のこころである「やまと魂」を観ます。

「日本」の象徴とも言える神社で、日本の民族衣裳を身に纏い、新たな人生の始まりを宣言する結婚式は、「やまと魂」を次世代へ伝えていく大切な民俗行事であるという想いを持って、これからも関わっていきたいと思います。

第5回新春交流昼食会

毎年恒例の交流昼食会を開催します。今年のゲストは第1回万葉の歌音楽祭大賞受賞者の縄文さんです、どんな歌やトークが飛び出すか。多数のご参加をお待ちしています。

日時 平成29年1月29日(日) 正午より
場所 桜井市粟殿「あるぼ〜る」
会費 ¥3,000



子ども、大人も楽しもう！ さくらの記紀万葉歌碑を知る

平成28年11月19日(土)～27日(日)まで桜井市立図書館で開催され、期間中延べ915名の方々の参加があり盛況裡に終わりました。今回は新しく企画した音楽イベントや万葉漫画教室、古代服体験等に子どもたちの参加も多く好評でした。今後はこの展覧会が市民の理解を深め、全国から桜井市への集客につながるよう努力していきたいと思ひます。(高瀬)



同時開催の音楽イベント

お知らせ

●図書館友の会

1月の読書会は、『えほん障害者権利条約』作：ふじい かつのり 絵：里圭 世界中の6人に1人は何らかの障害があるとされている今、障害のある人は特別な人間ではありません。本書では障害者権利条約の誕生からめざすべき社会までを、子どもにも、そして誰にでもわかりやすく描いています。

日時 1月24日(火)午後1時30分から
場所 まほろばセンター市民活動交流拠点
問い合わせ先 浅川 肇 TEL: 090-1961-6345
友の会会員以外の参加も歓迎します。



●土舞台顕彰記念イベント「ユーラシアアンサンブル」

聖徳太子によりつくられた、我が国で最初の国立演劇場「土舞台」の顕彰を記念して、音楽祭が行われます。桜井市内の聖徳太子関連史跡の探訪散策も開催されます。(9:30 桜井駅南口出発)

日時 1月22日(日) 13時から受付 13:30開会
場所 飛鳥学院保育所ホール(桜井市谷280)

問い合わせ先 土舞台顕彰会事務局(桜井市観光協会0744-42-7530)



【編集後記】 編集子として4回目の1月号となった。編集部の方々に支えられながら酉年を迎えるが、鳥は夜明けを告げる役割を果たす。「通信」が、そのような役割をどの程度に担えるか、それは会員や読者の方々と情報の交流と課題の共通認識からスタートすると考えます。本年もよろしく。(K・K)

うるわし通信発行人
高瀬 安男
TEL:090-1678-9157